

オレンジ新聞

第9号
発行
川口脳神経外科
リハビリクリニック

手厚いサポートで安心の生活

医療的なケアが必要でも住むことができる

この数年で認知症の患者が増え、その数は年々増加しています。認知症の患者は、日常生活が送れなくなり、家族の負担も大きくなります。認知症の患者は、医療的なケアが必要でも住むことができるように、手厚いサポートを提供しています。

「人の名前が出てこない」といふ症状は、認知症の初期症状の一つです。認知症の患者は、日常生活が送れなくなり、家族の負担も大きくなります。認知症の患者は、医療的なケアが必要でも住むことができるように、手厚いサポートを提供しています。

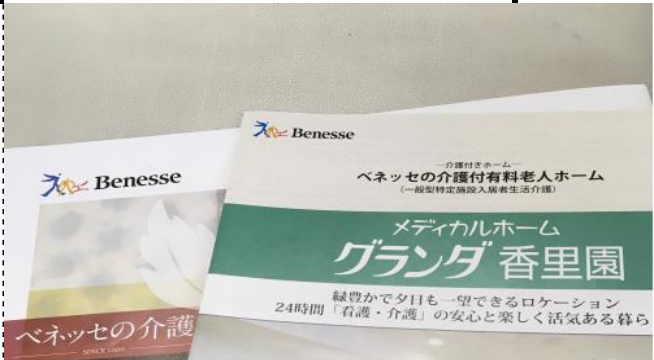
認知症の患者は、日常生活が送れなくなり、家族の負担も大きくなります。認知症の患者は、医療的なケアが必要でも住むことができるように、手厚いサポートを提供しています。

認知症の患者は、日常生活が送れなくなり、家族の負担も大きくなります。認知症の患者は、医療的なケアが必要でも住むことができるように、手厚いサポートを提供しています。

認知症の患者は、日常生活が送れなくなり、家族の負担も大きくなります。認知症の患者は、医療的なケアが必要でも住むことができるように、手厚いサポートを提供しています。

多様な住まいと暮らし方

認知症の患者は、日常生活が送れなくなり、家族の負担も大きくなります。認知症の患者は、医療的なケアが必要でも住むことができるように、手厚いサポートを提供しています。



詳細をお知りになりたい方は「メディカルホーム グランダ香里園」さんまで。見学もできるそうです。

カフェは毎月第3水曜日14:00～15:30

次回は令和2年1月15日

プログラムは当院スタッフによる

「認知症予防体操」です

高齢者の住まいは、高齢者の生活に合わせた住まいと暮らし方を提供しています。

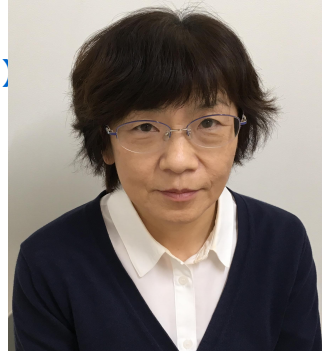
スタッフ紹介

荒木さん
(ケアマネジャー)

私の好きなもの
おもち

得意なこと

テニス、
こたつでゴロゴロ



お家でリハビリしてみませんか？

当院では理学療法士や作業療法士がご自宅へ訪問し、1人ひとりの生活に
応じたリハビリプログラムを立て、
住み慣れた地域で心身の機能改善だけ
でなく、充実した生活が送れるように
様々な観点から生活の安心と
快適を援助します。

詳しくは下記までお問い合わせください

TEL:072-835-1010

川口脳神経外科リハビリクリニック

担当：いき・ひらた

編集後記

今回のテーマは「認知症予防体操」です。認知症の患者は、日常生活が送れなくなり、家族の負担も大きくなります。認知症の患者は、医療的なケアが必要でも住むことができるように、手厚いサポートを提供しています。

認知症の患者は、日常生活が送れなくなり、家族の負担も大きくなります。認知症の患者は、医療的なケアが必要でも住むことができるように、手厚いサポートを提供しています。